



陶器工作科

ワークショップ *-Challenge to Creative Lessons-*

CCL

つくってみよう！自分だけの陶器

吉川和生



陶器と磁器の違いについて

含まれるガラス質の違い。よりガラス質が高いのが磁器。陶器は粘土を主原料とし、磁器は陶石と呼ばれる石の粉に粘りを与えるための粘土を混ぜて作ったもの。

陶器の焼成について

素焼き・・・800° 前後の熱で焼くこと。

本焼き・・・1200° 前後の熱で焼くこと。

施薬・・・釉薬を施すこと。

一般の工程は 成形→乾燥→素焼き→施薬→本焼き（上絵の具→焼成）

粘土について

採取する場所によって名称が違います。粘土によって割れにくさや出来栄にもいろいろな差が出てきます。学校教材としてよく用いられるのは割れにくい信楽土です。そのほかにも焼成温度が800° 前後の楽焼用土やテラコッタ（素焼用土）などがあります。最近では160°～190°のオーブンで焼成できるオーブン用土もあります。少し割高になりますが、箸置きなどの小さな作品を窯なしで手軽に作るすることができます。

釉薬について

釉薬は素焼したものに掛けて本焼きすることでガラス質になり色艶を出したり、水の浸透を防いだりするためのものです。含まれる成分の違いによって、色艶が変わってきます。藁灰や松灰などを作って自分で釉薬を作ることにもできます。備前焼のように釉薬を使わずに焼き締めるものもあります。

用具について

専門的なものも多数販売されていますが、ホームセンターにあるもので代用できます。たたら板は必要な厚さの板を買ってきてカットして使います。伸ばし棒も適当な丸材を買ってきてカットして使います。へらなども割り箸や竹などで手作りできます。

（よく釉薬を仕入れるお店）

福島釉薬株式会社 〒737-2519

住所 広島県呉市安浦町内海南5丁目2-37

電話番号 0823-84-2033

Fax 番号 0823-84-6912

※30kgの袋単位で買うと割安です。

（よく粘土を仕入れるお店）

西条陶業 〒739-0036

住所 広島県東広島市西条町田口214-30

電話番号 082-425-1104

Fax 番号 082-425-2556

※いろいろな相談にのっていただけます。対象学年や制作物によってどの粘土がいいかなどアドバイスをさせていただきます。

粘土や釉薬は教材業者でも手に入ります。また、インターネットでも様々な粘土を入手することができます。

2年生 自然から発見！世界に一つしかない自分の器

○題材のねらい

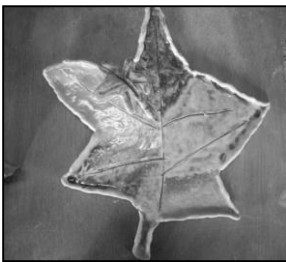
本題材は自分たちが学ぶ附属三原学校園の自然物の中から見つけた色や形・模様を陶芸用粘土を使って表現し、世界に一つしかない器を作り、自分たちで育てた米をおにぎりにして盛る活動である。

○材料・用具

信楽特練粘土・釉薬・上絵の具・粘土版・粘土ベラ・雑巾・たたら板・伸ばし棒

○工夫点

- ・自然の中で自然物に触れながらじっくりと遊ぶ体験を行い、そこから自分の作りたい器のイメージをつかませる。
- ・体験前後にイメージマップを描き、見つけた色や形、模様などを意識できるようにする。
- ・生活科で年間を通して行っている米作りと関連させ、自分たちで作ったおにぎりをのせる器を作ることで意欲を高めさせる。



5年生 光と影のハーモニー 照らせ、夢色のともし火

○題材のねらい

本題材は、光や影の味わいを生かした焼き物を作る学習である。光を生かした表し方に興味を持ち、その効果を確認めながら発想し、光の特長を生かしながらかつくることをねらいとしている。

○材料・用具

信楽粘土・釉薬・粘土版・粘土ベラ・雑巾・たたら板・伸ばし棒

○工夫点

- ・わくわくタイムと題して、本単元までに5～10分間の粘土遊びを数回行い、道具の使い方や焼き物を作る方法としての手びねり・板づくり・ひもづくりを遊びながら体験する時間を取ることで必要な技能を身につけさせておいた。
- ・作品の中にろうそくを立て、夜の芝生の上で観賞会を行うことを知らせ意欲を持たせた。

